四つの季節の鉄道ものがたり 冬

新しい街で

柴崎友香

動物園に行かない？　と友人からメールが来てから一週間後。

彼女は、東武東上線のホームに立っていた。隣には、友人と三歳になるその娘。女三人の、小旅行、というにはささやかな道程だった。友人の娘は、彼女がお土産に持ってきた小さな象のぬいぐるみを握りしめて、アニメの主題歌を繰り返し歌っていた。

彼女と友人は、中学・高校の同級生。彼女が東京と千葉との境の街に引っ越したら、友人がその近くに十年も前から住んでいることがわかって、月に一、二度会うようになった。

「関東の電車って、最終的にどこまで行くのか全然わからへんね」

電光掲示板の行き先案内を見上げて彼女が言うと、友人も頷いた。

「相互乗り入れしてるとこ多いし、普段使う路線以外はいまだに覚えられへんくて」

「寝てて気がついたらとんでもない遠くまで行ってた知り合いがいる」

「気ぃつけなあかんなあ」

その日も、彼女は初めて乗る路線だった。

初めて見る風景は、遠くまで見通せて、どこまで走っても山が見えず、関東平野のだだっ広さを彼女は実感した。

動物園には、お昼前に着いた。冬の始まりの寒い日だったし、あいにくの曇り空だったが、動物園に来るのは十年ぶりくらいだったので、彼女の気分は高揚した。象やキリンに餌をやることもでき、子どもがいることでそれもいっしょに楽しむことができた。

ペンギンが見える場所で、友人が作ってきたお弁当を食べた。友人の娘は、歌を歌ったり、動物の真似をしたり、ずっとはしゃいでいた。

娘は彼女に会うのを楽しみにしているのだと友人は言った。

「わたしが機嫌いいからやろうな。あの人が来たら、おかあさんは自分にもやさしくなる、ってわかってるんやわ」

彼女の夫は仕事で夜遅く、近所に親

イラスト・岡林玲

みんてつ

CONTENTS
Vol. 60
2017

◎日本民営鉄道協会とは？
昭和 42 年に社団法人として設立、平成 24 年 4 月 1 日付で一般社団法人に移行、72 社の民営鉄道会社で組織されています。
鉄道の利便性と安全輸送の確保を促進し、鉄道事業の健全な発達を図り、もって国民経済の発展に寄与することを目的とした活動を行っております。
なお、JR 各社や公営地下鉄などは加入しておりません。

四つの季節の鉄道ものがたり　冬
02 新しい街で
◉作家　柴崎友香

基調報告―46
04 地方鉄道の再生から、さらなる公共交通ネットワークの充実へ
―地域が支え、地域を支える公共交通
◉福井大学学術研究院 工学系部門教授　川上洋司

特集／地方鉄道による相互直通運転への挑戦
［えちぜん鉄道・福井鉄道の取り組み］

INTERVIEW
08 福井地域における鉄道の維持と地方都市の活性化
◉福井県知事 西川一誠

REPORT I
12 相互乗り入れ・福武線延伸
その整備効果と地域が支える地方鉄道の力
◉福井県総合政策部 交通まちづくり課 参事　平林　透
◉福井市都市戦略部 地域交通課 課長　野村康人
◉福井市都市戦略部 新幹線推進室 副課長　熊野一生

INTERVIEW
福井市のまちづくりと公共交通の全域ネットワーク拡充
◉福井市特命幹 中西賢也

REPORT II
20 えちぜん鉄道・福井鉄道
地域鉄道として重ねる企業努力
◉えちぜん鉄道株式会社 専務取締役　伊東尋志
◉えちぜん鉄道株式会社 営業開発部 部長　佐々木大二郎
◉福井鉄道株式会社 鉄道部 副長　阪下利充

TOP INTERVIEW
地域と一体となってまちをつくっていく
◉えちぜん鉄道株式会社 代表取締役社長　豊北景一

TOP INTERVIEW
地道な努力で住民の日常生活を支えたい
◉福井鉄道株式会社 代表取締役社長　村田治夫

28 連載28 地方民鉄紀行
新京成電鉄株式会社

30 連載38 大正・昭和の鳥瞰図絵師　吉田初三郎の世界
勝地群馬
◉首都大学東京非常勤講師　藤本一美

戚もいないので、ほとんど娘と二人きりで過ごしているという。娘のおしゃべりにつきあう余裕もない、と友人はさびしそうに言った。彼女は、中学や高校であれだけ毎日なんでもはなして過ごした友人の今の生活や心を実感できないことを、歯がゆく思っていた。

帰りの電車を待つホームで、彼女はふとポスターに目を留めた。赤いラインの入った特急電車の写真。

「特急りょうもう。りょうもう、ってなんやろ」

「りょう、もう」

友人は、ゆっくり繰り返した。

「坂本龍馬のりょう？　もう、は、猛？」

「なんやろなあ」

そのころはまだ、ストラップをいっぱいつけた携帯電話を誰もが持っていて、なんでもすぐに検索したりはしなかった。そしてやってきた電車に乗ってあれこれ話しているあいだに、「りょうもう」のことはすっかり忘れてしまった。

「両毛」だと彼女が知ったのは、ふと思い出してパソコンで検索してみた一週間後だった。今度はあの特急に乗って、友人とどこに行こうか、と彼女は路線図をクリックした。

しばさき ともか

作家。大阪府生まれ。2000年『きょうのできごと』でデビュー。07年『その街の今は』で第57回芸術選奨文部科学大臣新人賞、第23回織田作之助賞大賞、10年『寝ても覚めても』で第32回野間文芸新人賞、14年『春の庭』で第151回芥川賞を受賞。
著書に『次の町まで、きみはどんな歌をうたうの？』『わたしがいなかった街で』『星よりひそかに』『きょうのできごと、十年後』など。最新刊に『パノラマ』がある。